



トラブルと向き合う！

校長 川崎 正

学校生活が始まり、1ヶ月以上が経ちました。1年生も先生や友達とのかかわりができ、活気にあふれています。

どのクラスも活気にあふれていますが、その反面、子ども同士のトラブルも発生します。トラブルは無いほうがいいにこしたことはありません。しかし、たくさんの子どもたちが生活しているので、トラブルはあって当たり前です。学校は、勉強だけでなく、「子どもたちがトラブルとどう向き合い、どう対処していくかを学ぶ大切な場所」でもあります。さまざまなトラブルに対して、自分たちで解決していくことができれば良いのですが、小学生ではなかなかうまくいかないことが多いです。

お互いの話を聞いてみると、子どもたちは、トラブルの一連の流れの中で、結果の一部を切り取って自分の立場を伝えることが多いです。しかし、じっくり聞いていくと、そこには必ず何らかの原因があり、根気強く双方の話を聞いて紐解いていく必要があります。

この時、うまくトラブルを解決するためには、「お互いの思いを理解し、自分のこととして考えること」ができるかが大切になってきます。ただ、叱りつけていくだけでは、根本的なトラブルの解決にはならず、減ることがありません。学校は「子どもたちがトラブルとどう向き合い、どう対処していくかを学ぶ大切な場所」と述べたのは、これらの理由からです。

子どもたちにとって、相手の気持ちを理解することや、自分の気持ちを上手に伝えることは、とても難しいことです。大人の世界ではなおさらです。相手の気持ちを理解するためには、『ありがとう』や『ごめんなさい』という言葉がとても大事だと思います。また、大人の世界でも、「それはだめ」とか「それはいけない」など否定的な言葉を使って自分の気持ちを伝えると、トラブルがよく起こることがあります。子どもの世界ではなおさらです。上手に気持ちを伝えるには、『できるようになってほしい行動を具体的に伝える』ことが大切だと思います。例えば、「そうじ、サボるなよ！」ではなく、「今はそうじの時間だから、拭きそうじと一緒に頑張ろう」とか言ってあげたら、きっとトラブルは少なくなると思います。まずは、大人が良い手本を見せて、考えさせていかなければなりません。そんなことを日々反省し、今日も子どもの様子を見守っています。

これから暑い日も増えてきます。体調管理には十分注意してまいりましょう。

(HP 随時更新中)

◀ 国道 269 号線がきれいになりました ▶

5月7日(日)の朝8時から約3時間、山重校区コミュニティ協議会の地域づくり部による国道269号線美化作業が実施されました。当日は朝から小雨が降り続く中でしたが、保護者・地域の方々がたくさん参加され、国道沿いの草を払っていただきました。おかげさまで、広範囲に亘り、すっかりきれいになりました。本校の子どもたちが気持ちよく登下校できます。

ご尽力くださった皆様、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

